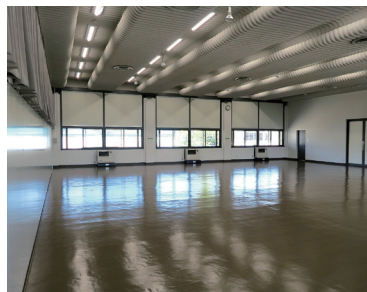
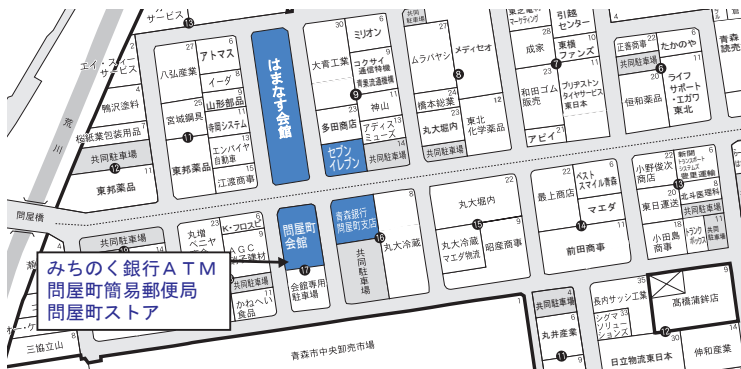




青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2018年9月28日



改修された会館2階大会議室



オープンしたセブンイレブン

問屋町会館周辺は、問屋町会館に簡易郵便局やみちのく銀行のATM、近隣には青森市はまなす会館や青森銀行問屋町支店もあり、今回の2つの機能がプラスされたことに

問屋町の中心拠点として利便性が高いゾーンとなつて、新たな問屋町会館周辺に、新たに2つの機能が加わった。
1つ目はセブンイレブン青森問屋町1丁目店。同店は8月31日にオープンし、市内でも2番目の規模を誇る大型店で、商品が充実しているほか飲食ブースも完備されている。同店の開業は買い物に便利だけでなく、夜間でも通り

問屋町の中心拠点として利便性が高いゾーンとなつて、新たな問屋町会館周辺に、新たに2つの機能が加わった。
1つ目はセブンイレブン青森問屋町1丁目店。同店は8月31日にオープンし、市内でも2番目の規模を誇る大型店で、商品が充実しているほか飲食ブースも完備されている。同店の開業は買い物に便利だけでなく、夜間でも通り
が明るく安全性が向上するなどが明く、安心・安全な街づくりにも大きく寄与している。
2つ目が問屋町会館2階大会議室。同会議室は、経年劣化により暖房設備が使用不能となつており冬期間は使用できない状態、壁面や床面の損傷も著しく補修が必要であった。近年、組合員昼食会への参加組合員数が増加しており、1階会議室では収容しきれなくなる恐れもあり、対応が急務となつてきた。そこで組合では会館を有効活用すべく、広さ約80坪ある2階大会議室を改修することとした。改修後の会議室は暖房設備が更新され、断熱性能向上も図られた。内装もすっきりと整備され、トイレも和式から洋式へリフォーム。今後は組合員限定でオールシーズンの貸し出しにも応える。

問屋町中心ゾーンの賑わい・利便性向上 セブンイレブン開店・問屋町会館2階改修



完成したアピイ新社屋

新規組合員の(株)アピイが問屋町内で進めていた本社事務所の新築工事がこのほど完成し、卸団地での営業がスタートした。
同社は青森市内で住宅型老人ホームを運営している他、介護用品・福祉用具のレンタルや販売など、介護支援事業全般を手掛けている。
これまでの事務所が来所者や職員の駐車場確保に苦慮していたため、必要な敷地面積を確保出来る当団地へ移転。



新設された共同駐車場

今年度の2箇所の整備により収容台数が88台増加。組合では今後も組合員が働きやすい環境整備に努めていく。
近年、共同駐車場は組合員用地への変更等により収容台数が減少し、特に冬期間は慢性的に駐車場不足となつていたため、駐車場整備が急務だった。
新設された共同駐車場は組合員用地への変更等により収容台数が減少し、特に冬期間は慢性的に駐車場不足となつていたため、駐車場整備が急務だった。

より、ますます利便性が高まった。組合では今後もエリアマネジメントの一環として、問屋町中心ゾーンの更なる利便性向上を図り、賑わいを創出していく。



問屋町地区健康診断

問屋町会館において、「問屋町地区健康診断」と題する一般市民を対象とした健康診断が実施された。6月から8月にかけて計3回行われた同

一般市民向けの健康診断を実施

「組合員跡地再整備計画について」など承認 第5回理事会

8月27日(月)に第5回理事会が開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。また、事務局からは、問屋町納涼パーティーの参加状況についてなどを報告した。主な案件審議は次のとおり。案件一：既存組合員への組合施設売却並びに施設賃貸の承認及び出資金等の承継について

案件二：組合員跡地再整備計画について 案件三：2018年度第6回理事会の日程等について

今年度2回目となる献血が、8月17日(金)の午前11時30分から午後1時まで行われた。問屋町会館前にて移動献血バスで実施された献血には組合員従業員ら10名が協力した。

地域貢献活動の一環として献血に協力

健康は、問屋町の近隣企業従業員ら72名が受診した。問屋町地区健康診断は、青森市南部の健康づくりの拠点として、組合の健康事業の一環として昨年度から実施。組合員企業も受診でき、問屋町での受診機会が増えることとあって大変好評を得ている。

組合では1971年から50年近くにわたり献血推進運動を実施してきており、献血バスの来訪日を決めて組合員や関連企業などに案内している。組合では地域貢献活動の一環として、引き続き献血への協力を呼びかけていく。



移動献血バスで献血

組合では1971年から50年近くにわたり献血推進運動を実施してきており、献血バスの来訪日を決めて組合員や関連企業などに案内している。組合では地域貢献活動の一環として、引き続き献血への協力を呼びかけていく。

組合では1971年から50年近くにわたり献血推進運動を実施してきており、献血バスの来訪日を決めて組合員や関連企業などに案内している。組合では地域貢献活動の一環として、引き続き献血への協力を呼びかけていく。

組合では1971年から50年近くにわたり献血推進運動を実施してきており、献血バスの来訪日を決めて組合員や関連企業などに案内している。組合では地域貢献活動の一環として、引き続き献血への協力を呼びかけていく。

組合では1971年から50年近くにわたり献血推進運動を実施してきており、献血バスの来訪日を決めて組合員や関連企業などに案内している。組合では地域貢献活動の一環として、引き続き献血への協力を呼びかけていく。



街路樹下枝や雑草を除去

9月2日(日)、問屋町緑のボランティア隊による街路樹の下枝刈りや街路樹樹根及び歩道の除草作業が行われた。今回の作業範囲は問屋町大

街路樹の下枝を伐採

問屋町緑のボランティア隊

9月2日(日)、問屋町緑のボランティア隊による街路樹の下枝刈りや街路樹樹根及び歩道の除草作業が行われた。今回の作業範囲は問屋町大

9月2日(日)、問屋町緑のボランティア隊による街路樹の下枝刈りや街路樹樹根及び歩道の除草作業が行われた。今回の作業範囲は問屋町大



回収された枝や雑草

通り及び北側枝線道路。参加した28名の隊員は、残暑を感じさせる青空の下、伸びきった下枝や雑草に苦戦しつつも、作業は2時間で終了。道路脇や歩道の景観が改善され、問屋町の景観美化向上に大きく貢献した。

通り及び北側枝線道路。参加した28名の隊員は、残暑を感じさせる青空の下、伸びきった下枝や雑草に苦戦しつつも、作業は2時間で終了。道路脇や歩道の景観が改善され、問屋町の景観美化向上に大きく貢献した。

通り及び北側枝線道路。参加した28名の隊員は、残暑を感じさせる青空の下、伸びきった下枝や雑草に苦戦しつつも、作業は2時間で終了。道路脇や歩道の景観が改善され、問屋町の景観美化向上に大きく貢献した。

通り及び北側枝線道路。参加した28名の隊員は、残暑を感じさせる青空の下、伸びきった下枝や雑草に苦戦しつつも、作業は2時間で終了。道路脇や歩道の景観が改善され、問屋町の景観美化向上に大きく貢献した。

Advertisement for Higuchi Co., Ltd. featuring icons for office equipment, system equipment, office furniture, stationery, and water servers. Text includes 'HIGUCHI 株式会社ヒグチ' and contact information for Aomori City, Aomori Prefecture.

Advertisement for Yoshida Industry Co., Ltd. (青森支店) with the slogan 'いつもそばに 地域と共に ...未来へ'. It lists the branch manager, address, and phone numbers, and mentions '建設資材、土木資材の販売および施工、気象情報の販売'.

問屋町たんしん



①インフルエンザ集団予防接種の様子

日時 10月23日(火)

②第42回問屋町ボウリング大会

会場	問屋町会館
実施機関	2階大会議室
料金	成田あつしクリニック 1人2,600円
日時	10月30日(火) 15時~17時30分 11月6日(火) 13時30分~16時 11月17日(火) 15時~17時30分
参加料	アオモリボウル 1人1,800円
定員	90名

業務報告

…主要事項…

- 8月
 - 3日▽青森大学企業見学
 - 8日▽第3回問屋町地区健康診断
 - ▽第2回問屋町従業員モニタリング会議
- 9日▽第5回問屋町合同清掃▽組合員昼食会
- 10日▽関東甲信越・東北卸商業団地連絡協議会幹事交流会(11日)
- 15日▽金融審査会
- 17日▽第2回献血
- 21日▽安協問屋町支部第2回街頭指導
- 23日▽青森市社会福祉大会
- 27日▽第5回理事会
- ▽問屋町ボウリング教室vol.1
- …問屋町ビジネススクール…
- 21日▽会計入門講座(試算表編)①
- 23日▽会計入門講座(試算表編)②
- 24日▽会計入門講座(補講)
- 28日▽傾聴ノウハウ

経済雑感

第八十八回 青森総合卸センター 理事長 西 秀記

前号に引き続き、当組合の西理事長による経済雑感をお届けする

今年、海外に行く機会があり、その時にもUberを使った。場所は、リトアニアの首都ビリニユス。Uberは、サンフランシスコで生まれたサービスで、他に世界630以上の都市で利用できる、ビリニユスでも使える。

私は、ホテルの近くから空港に向かう際などに使ったが、料金が7ユーロ弱のクルマを運ぶと、5分ほどで自分のいる場所に到着した。ドライバーと挨拶を交



青森総合卸センター 理事長 西 秀記

わし、荷物を載せてもらい、乗車したら出発。あとは雑談しながら15分程度で到着。降車して荷物を受け取ってサービス終了。するとスマホにドライバーを評価するようメッセージが表示されたので、5つ星の中の4つ星評価をした。たったこれ

だけである。この一連の行動をUberなしでやろうとする、まずはタクシー会社に電話して現地語で自分の居場所を説明して呼ばなければならず、その時点で諦めて近くにあるホテルなどに行つてタクシーに乗る人が多いのではないだろうか。さらに乗車して行き先を現地語で説明するの

に困難が伴う場合もある。また、Uberは、時間によって料金が上下するもの、タクシーより安い、結局滞在中にタクシーを使ったのは最初の1回だけで、あとは仲間内の誰かからのスマホでUberを使っていた。このようにUberは、タクシーなどの従来の配車サービスの概念を超越したまったく新しい発想のサービスとして急速に普及したが、

その一方で、様々な問題も生じている。例えば、既存のタクシー業界との軋轢である。タクシーは、法的規制などをクリアして営業しているのに対して、Uberはそのような規制は受けないことから、タクシー

業界が猛反発し、また安全基準なども不明確なこともあり、ロンドンなどではUberが禁止になったほどである(後に解禁)。また、Uberのドライバーが急増し、常にまちなかを走るようになったため、特にサンフランシスコなどでは渋滞が深刻化している。日本では、様々な規制があつてUberの普及はまだまだ限定的であるが、東京オリンピックを前に民泊新法ができたように、ライドシェアについても国が規制緩和を検討中なので、オリピックまでには普及が進むことが予想されるが、Uberの高い利便性が確保されることを望んでいる。(完)

サービス付き高齢者向け住宅 県内24棟運営
シニアマンション・シルバーピュア

高齢者の方に、明るく、清潔なバリアフリーの住居を提供し心身ともに健康を維持、回復していただくことを支援しています。

有限会社ファイナンシャル・サポート
特定非営利活動法人ラ・シャリテ (株)MT・Community

- 月額70,000~100,000
- 全室個室・専有面積12.5~14帖
- (バス・トイレ・キッチン・収納・冷暖房・緊急通報装置完備)
- 安心できる生活サポートサービス
- お一人お一人に合わせた介護サービス

青森市第二問屋町3丁目3番31号
TEL 017-739-6538
FAX 017-762-2357
0120-934-741

鴨沢塗料株式会社
青森支店

日本ペイント特約店

■主要品目
塗料全般、塗料資材、塗装機、接着剤、各種テープ、溶剤類、他

青森支店 青森市問屋町一丁目12-4 TEL(017)738-1771(代)
E-MAIL: aomori@kamosawa.co.jp FAX(017)738-1772

中部遊技機商業協同組合 加盟
東北遊技機商業協同組合 加盟
回胴式遊技機商業協同組合 加盟

ATMASS
http://atmass.co.jp/

〒030-0131 青森県青森市問屋町一丁目11番6号
tel..017-764-2244 fax..017-764-2245

【業務内容】

- オフセット印刷(ポスター・チラシ・パンフレット・リーフレット・記念誌他)
- 企画・デザイン ●フォーム印刷(OCR・帳票・メールシール)
- PDF・CD-ROM製作

第一印刷株式会社
青森市石江字江渡3-1 〒038-0003
tel 017-782-2333(代) fax 017-781-9153
e-mail: diikg-1@abeam.ocn.ne.jp

起業・創業支援施設を開設
青森商工会議所

青森商工会議所では、青森駅前への移転に伴い、新会館1階に「AOMORI START UP CENTER」を開設した。

同施設では、青森県、青森市と連携して起業・創業支援を行う。市の「あおもり地域ビジネス交流センター」も移転開設し、起業・創業の専門家であるインキュベーションマネージャーが常駐し、新しい仕事に挑戦する人の相談に応じる。

センター内には訪れる人が自由に使えるフリースペース、リングボックスをイメージして作られた展示スペース、期間限定

でシヨップを運営するブース、飲食関係のイベントが開催できるキッチンスペースなどが設けられている。

同施設のオープンで、新商品・新サービスの創出、大学生等が行う中心市街地でのフィールドワークの拠点、さ



あおもりスタートアップセンター

らには、街の活性化に意欲的な人々が集い、新たな価値創造を加速的に進め、地域の活力強化が図られることが期待される。

大注目のボルダリングを
楽しく体験

今年度1回目となる問屋町ボルダリング教室が8月27日(月)に開催された。組合員であるK・フロスビ(株)が問屋町内で運営するボルダリング施設(Glide Climbing)にて行われ、10名が参加した。

ボルダリングは、壁に備え付けられたホールドと呼ばれる凹凸を手足のみを使って登るスポーツで、オリンピック種目にも選ばれたことで注目

を浴びている。施設内には難易度が異なるコースが数多くあり、参加者は簡単なコースから順番に挑戦。ホールドの掴み方や、馴れない体の動かし方に苦戦しながらも、爽やかな汗をかい



問屋町ボルダリング教室

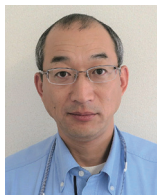
団地企業訪問

今回の団地企業訪問では、今年の2月から青森事業所に赴任した積和建設東北(株)の添田所長にお話を伺った。

同社は積水ハウスの施工部門を東北エリアで担う積水ハウスの子会社として昭和51年2月に設立。在来木造住宅や店舗の新築・リフォーム、またマンションのリフォーム、エクステリア事業にまで活動領域を拡大し、「総合建設業」として日本の住宅産業に貢献している。

「当社では、積水ハウスの建築プロセスの一つ一つを確実に正確に総合的な品質管理を行っており、これまでに培ってきた高い技術力で、お客様に快適で家計

にも環境にもやさしい暮らしをご提供いたします。現在、特に力を入れているのが積和建設独自で展開している木造住宅「積和の木の家」です。木の家の基本は自由設計となっており、洋風や和風など外観やインテリアへのこだわりを積水ハウスグループのノウハウと技術を持ってカタチにします。また当社ではアフターサービスにも力を入れており、工事後いつまでも、どんなことにも対応いたします」とアピール。



積和建設東北(株)青森事業所 事業所長 添田 健一 氏

業界の現状について聞くと「業界では職人不足が大きな課題となっています。左官職人などの技術職は年配者が多くを占め、若者がいないのが現状です。そこで、積

水ハウスグループでは将来にわたって安定的に施工力を確保し、施工品質の維持・向上を図るため、人材の育成や次代を担う若い技能者への技術の継承に力を入れており、教育訓練センター・訓練校を運営しています。こちらは茨城県

知事認定の職業能力開発校で、積和建設各社や施工協力工事店に採用された若者をはじめ、社会人として必要な教養やマナーを身につける訓練を行っている。第一線で活躍できる人材を育てることを目的としています。若い力が現場に活力を与え、工事能力強化に貢献しています」と話してくれた。

一面の間屋町中心ゾーンの利便性と賑わいについて補足します。これまでは問屋町会館(南西)・はまなす会館(北西)・青銀問屋町支店(南東)と三方でしたが、セブンイレブン(北東)出店のお陰で四方となり中心ゾーンらしくなりました。また問屋町会館2階大会議室の改修により研修・会議の利便性の向上が期待されます。▼組合の「3つの価値創出事業」という点では「社会的価値の創出」になると思います。▼組合は今後とも組合員の皆様に役立つエリアマネジメントを心がけます。▼転話題。6月の商団連総会の講演「地方の創生・活性化/卸地の役割」をご紹介します。▼講師は経産省出身で中小機構理事でもあった宮崎大学地域学部 吉田雅彦教授。氏の経験に裏打ちされた講演は興味深いものがあります。▼卸売業の課題を「中央・大企業の製品を地方・中小企業・消費者に卸すB to C卸売業」と「地域の製造業に部品・部材を供給するB to B卸売業」に分類分析。▼「B to C卸売業」は「大手メーカーの直販、ネット販売の影響」が大きく▼「B to B卸売業」は「円高等で地場の製造業が衰退した影響」があったが「現在は円高是正で好調」であるとのこと。▼そこで「B to C卸売業」は今後「中小小売店を觀察して共存の道を考える」「直販を志向する生産者と組む」「人手不足の中、組織と人のメリットを考える」等が求められ▼「B to B卸売業」は「不況を予見した経営」「忙しいメーカーを助けるビジネス」が必要とされるとのこと。▼この稿づく。(藤本)

編集後記

最新機能を搭載した
ホームセキュリティの「新基準」
ホームセキュリティ Basic
青森県の防犯対策・ホームセキュリティなら
青森総合警備保障株式会社
ホームページ http://www.a-alsok.jp/
0120-711-806 (平日9時~18時)

国産メーカーで三菱だけ!
電気で走る4WDの
SUVプラグインハイブリッド
新型
アウトランダーPHEV
全メーカーOK! 板金塗装ならおまかせ。ディーラーならではの丁寧で高い技術力が自慢です。
問屋町ボディ工場 ☎017-739-4361 定休日:毎週月曜日・他
青森三菱自動車販売(株) 青森三菱 検索
本社:青森市石江4丁目1-2 ☎017-781-3311